

第三者評価結果

事業所名：明日葉保育園鶴見園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 </div>	a
<コメント> 法人の保育理念・保育目標は明文化しており、パンフレット・園のホームページにて周知しています。園目標は職員全員で話し合っており、「主体的な保育にむけて」一丸となって取り組んでいます。保護者には重要事項説明書にて説明しており、懇談会や園だよりを通じて周知しています。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 </div>	a
<コメント> 本部が把握・分析した経営状況は本部の園長会にて情報共有しています。さらに、園長は鶴見区の園長会や市・区からの情報から、地域のこどもの数や福祉ニーズなどの情報を収集・把握しています。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 </div>	b
<コメント> 地域のこどもの数の減少に伴い、園を周知する機会として園庭開放や育児相談など地域の子育て支援に努めています。また、0歳児の一時保育の受け入れを開始しており、一時保育専任職員の配置や看護師との連携を図り運営しています。さらに、園では園児数の確保に向けて、保護者から「入園させたい」と思われる保育園づくりに取り組んでいます。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 </div>	a
<コメント> 園では中長期事業計画は「地域との関わり」「保育理念に基づく保育」「保育士の資質向上」「地域の子育て支援活動」と4つの大項目で策定しており、それぞれ具体的な内容が記されています。中長期事業計画は明文化し職員に周知しており、定期的に見直しをしています。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 </div>	a
<コメント> 単年度計画は中長期計画を踏まえて、具体的な計画を示しています。「保育理念に基づく保育」では、職員はクラス会議・乳幼児会議・リーダー会議・法人内主任会議などで理念に基づく一貫性のある保育を確認し、実践的に取り組んでいます。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p><コメント></p> <p>保育計画はPDCAサイクルを回し、職員会議などでこどもの様子やクラスの現況を情報共有して、評価・振り返り・見直しをする仕組みがあります。職員は保育計画をいつでもタブレットで確認することができ情報共有が図られています。</p>	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p><コメント></p> <p>保護者には年度始めに年間事業計画の主な内容や目的を周知しており、保護者が参加する行事の日程は早く知らせよう努めています。日々の活動はドキュメンテーションを配信しており、具体的な計画や保育の活動内容については懇談会で保護者に説明しています。計画についての質問や問い合わせには丁寧な対応を心掛けています。</p>	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p><コメント></p> <p>園では保育の質の向上に向け、職員の自己評価や第三者評価の受審など組織的に取り組んでいます。保育活動のドキュメンテーションの作成は日々の保育の振り返りの機会となっており、以後の保育計画に反映するなど保育理念「子どもの明日を育み、今日を支える」に向けて保育に努めています。</p>	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p><コメント></p> <p>職員は年度始めに各自で目標設定をしており、自己評価により目標達成に向けた現状を確認しています。園長とは自己評価結果を元に定期的に面談をしており、良い点・改善点を明確にし、取り組むべき課題を共有しています。園長は、職員に必要と思われる研修の受講を勧めるなど、助言や指導をしています。</p>	

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は運営規程・職務分掌にて責任と権限を明確にしています。また、職務分掌では職員の責任と権限を明文化しており、年度始めに園での担当役割を任命しています。保護者には、重要事項説明書にて職員体制や緊急時・非常災害時の防火管理責任者の周知をしています。</p>	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は鶴見区園長会や本部の園長会にて遵守すべき法令など情報収集しており、把握・理解して園の運営に努めています。職員は事故防止チェックリストにて、「保育・環境」「園外活動」「給食」と毎日の保育を振り返っており、園長は事故防止チェックリストを確認しています。園では園長会議の報告や議事録を共有しており、遵守すべき法令や基準の理解を深めて保育に取り組んでいます。</p>	

<p>【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント> 園長は保育書類の確認や園内を巡回しており、子どもや職員の様子を把握しています。日頃から保育に参加しており、気になる点は積極的に声をかけ対話するよう心掛け、保育の方向性を明確にしています。本部とは日々の報告・連絡をおこなっており、定期的な巡回など連携が図れています。</p>	
<p>【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント> 園長は毎月の財務状況を管理しており、本部と状況の共有を図り経営の改善や業務の実効性に向けた取り組みに努めています。本部では、保育を楽しみ働く仲間の笑顔が見たいと「にんまり」「ほっこり」したエピソードを「にやりホット」と称して、組織全体で同じ方向性を共有しています。園では、日々の保育の中での「にやりホット」を職員間で共有しており、チームワーク向上に向けて取り組んでいます。</p>	

2 福祉人材の確保・育成

<p>(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p> <p>【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>第三者評価結果</p> <p style="background-color: yellow;">a</p>
<p><コメント> 職員採用は本部が主導しており、求人案内のパンフレットの作成や様々な媒体を活用しての求人活動がおこなわれています。また、職員が卒業した学校で保育士としての働きがいなどの話をしており、学生が保育士として将来のイメージが持てる取り組みをしています。採用後は入社前オリエンテーションや様々な研修体系を構築しており人材育成・定着に関する具体的な計画を確立しています。</p>	
<p>【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	a
<p><コメント> 園では、本部が定めている行動指針の7つの原則を読み合わせており、評価シートにて求められる行動・姿勢を具体的に示しています。職員の自己評価結果は本部と園長とで確認しており、個人面談など組織的に人事管理がおこなわれています。</p>	
<p>【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	a
<p><コメント> 園では職員の就労状況を本部と連携を図り、勤務管理表・有給管理表にて管理しています。園長は人材配置の状況を確認しながら、休みが取れる日などは職員に声かけしており、有休休暇の取得を促進しています。本部では、職員が本部に直接相談できる「ホットライン窓口」を設置しており、状況に応じて本部と面談するなど組織的に働きやすい職場づくりに取り組んでいます。</p>	

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント> 本部はソシオークラウドを明確にしており、職員に求められる行動・姿勢を具体的に示しています。職員は年度始めに目標設定して保育に取り組んでおり、園長とは目標の設定時・中間時期・年度末と面談をして自身の取り組み状況を共有し、取り組むべき課題に対して助言や指導など育成に努めています。	
【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<コメント> 本部では、保育士としての専門性を高めるため共通研修・階層別研修・年齢別研修など研修体系を整備しています。園では毎年研修計画を立てており、職員が公平に参加できるようシフト調整をしています。	
【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<コメント> 園では職員の経験や資格、研修受講歴を把握・管理しており、一人ひとりの教育・研修の機会を確保しています。キャリアアップ研修は職員のスキルアップにつながることから、受講を推奨しています。研修受講後は、報告書の作成や資料の回覧など情報共有に努めています。	
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント> 園では実習生の受け入れマニュアルを整備しており、養成校と連携して学生を受け入れております。実習期間中は毎日振り返りの時間を設けており、実習生の質問や悩みに丁寧に対応しています。	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<コメント> 入園のしおりや園のホームページにて、事業目的・保育理念・保育目標を公開しています。保護者には重要事項説明書にて苦情などの申し出窓口や第三者委員の設置を明記しており、運営委員会を開催し適切に情報公開しています。	
【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<コメント> 園長は日頃から本部と連携を図り園の運営に努めており、透明性の高い経営・運営に取り組んでいます。本部では定期的に園を巡回しており、事務・経理書類の確認をしています。また、行政監査で指摘事項があった際は本部や職員と情報共有を図り改善策を協議しており、速やかに報告書の提出をしています。	

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<コメント> 園は今年度(2023年)から地域支援担当者を配置し、積極的に地域との交流に取り組んでいます。地域支援担当者は離乳食講座の開催や、園の入口に設置している掲示版にて園庭開放や一時保育の案内など近隣の子育て家庭に情報発信をしています。保護者には園内に、鶴見区での子育て支援施設のパンフレットなど常置し情報提供をしています。	
【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<コメント> 園ではボランティアの受入れマニュアルを整備しており、地域の学校教育など積極的に協力をしています。園長は、近隣の中学校1年生に保育士の仕事内容や働きがいなど講話しており、中学2年生の職業体験学習を受け入れるなど中学生の継続した学習に協力しています。職業体験学習では、中学生が子どもと一緒に遊んだり、玩具の消毒をしたりするなど保育士の仕事を体験しています。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<コメント> 地域の関係機関や団体の連絡先を一覧にして掲示しており、連携に努めています。消防署とは防災訓練の報告、警察署とは不審者訓練の実施、発達療育センターとは定期訪問時に相談や指導など関係機関と適切に連携が図れています。	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<コメント> 地域支援担当者を配置し地域の福祉ニーズを把握し、子育て家庭の支援に取り組んでいます。園長は地域の交流会に参加して地域福祉の動向の把握しており、近隣保育園と情報交換し交流するなど連携に努めています。	
【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<コメント> 園の地域支援担当者が把握した地域の福祉ニーズから、0歳児の一時保育の受け入れを実施するなど子育て家庭を支援しています。さらに園では公益的な取り組みとして、廃油からバイオディーゼル燃料を生み出し、低二酸化炭素化を実現するエコ資源に取り組んでおり、家庭で使用したてんぷら油などを回収し提携企業へ提供する回収ステーションとして地域貢献に努めています。	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
<p>【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 園では、子どもを尊重した保育に向けて具体的な行動指針を話し合っており、子どもへの声のかけ方などを保育室に掲示して、子どもを尊重した保育に取り組んでいます。保護者には重要事項説明書にて、登降園時の心配りとして、「子どもに『早く、早く』の言葉は禁物です。」と伝えており、保護者からも「子どもファーストの保育をしてくれている」との声がありました。</p>	
<p>【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	a
<p><コメント> 園はプライバシー保護マニュアルを整備しており、職員は「より良い保育のためのチェックリスト」により常に自身の保育を振り返りプライバシーに配慮した保育に努めています。保育室には、人権擁護のためのセルフチェックリストを掲示しており、職員は共通意識のもと保育に取り組んでいます。保護者には重要事項説明書にてプライバシー保護に関する具体的な場面での配慮について説明しています。</p>	
<p>(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>	
<p>【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a
<p><コメント> 園のパンフレットでは、保育理念・保育内容・園内の施設環境などの情報発信をしています。また、園のホームページでは園の紹介動画を公開しており、園内の様子や、園長から保育理念に沿った取り組みの説明、職員から保育に対する想いなど、入園を検討している保護者に向けて情報発信しています。園の見学は随時受付けており、質問事項など丁寧な対応に努めています。</p>	
<p>【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a
<p><コメント> 園では、独自に重要事項説明に関する動画を制作しており、保護者にわかりやすく伝える工夫をしています。入園前説明会では、重要事項の詳細部分の説明と、園で使用する持ち物など写真や現物をみていただき、入園準備がスムーズに進められるよう配慮しています。さらに、質問事項などは個別で対応するなど丁寧な対応を心掛けています。</p>	
<p>【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a
<p><コメント> 重要事項説明書では利用の終了に関する事項を明記しており、保護者に周知しています。園では卒園や転園時には、子どもの育ちを共有するための書類を作成するにあたり、児童保育要録の整備と記入方法の研修に参加し記録の書き方を研鑽しており、適切な引き継ぎに努めています。卒園や転園時には、担当者や電話番号を記載した「またきてねカード」を渡しており、保育の継続性に配慮しています。</p>	
<p>(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>	
<p>【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 子どもの「やりたい」「やってみたい」など興味関心を受け止めて、子どもの満足を把握しながら保育に努めています。保護者には、行事後と年度末にアンケート調査を実施しており、アンケート結果を元に職員会議で改善策など話し合い次年度計画に反映させています。また、アンケート結果は園だよりで公表し保護者と共有しています。</p>	

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
【34】 Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】 園は苦情解決体制を整備しており重要事項説明書にて、苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員の設置を明記して保護者に周知しています。苦情や要望の申し出があった際は苦情記録簿にて管理しており、本部と職員とで共有し連携に努めており組織的に取り組んでいます。	
【35】 Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<コメント> 園は重要事項説明書に「ご家庭と園との連絡方法」に関する事項を明記しており、保護者が意見や相談を申し出しやすいように複数の受け付け方法を周知しています。また、玄関には「ご意見・ご要望の相談窓口の設置について」を掲示しています。保護者からは、日頃から職員から「どうですか？」と声を掛けてくれるとあり、双方向コミュニケーションに努めています。	
【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<コメント> 園では、登降園時には保護者とのコミュニケーションを図り、こどもの姿を共有しています。保護者から相談や要望があった際は、園長やリーダーと連携を図り迅速に対応するよう心掛けています。職員とは会議で情報共有しており、さらに本部と連携するなど組織的な対応に努めています。	
【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<コメント> 園は安全管理マニュアルを整備しており、職員は読み合わせして保育に努めています。保育室には、火災・救急通報の手順と、食物アレルギーによる症状への対応法を掲示しており職員が的確に行動をとれるようにしています。職員は、事故防止チェックリストにより、保育環境・園外活動・給食と分類ごとに毎日チェックしており、安全・安心を確認し保育に取り組んでいます。	
【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<コメント> 園では感染症予防・まん延防止マニュアルを整備しており、保護者には重要事項説明書や園内掲示にて、発症後の登園許可書・登園届けが必要な感染症について周知しています。看護師は、職員に季節性感染症に関する研修の実施や、保護者に保健だよりを通じて、家庭での予防策や注意喚起など情報提供をしています。	
【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<コメント> 園は防災マニュアルとBCP（事業継続計画）を整備しており、職員は災害時の対応について訓練をおこなっています。また、避難確保計画を作成しており、保育室にはヘルメットや防災頭巾・避難用の靴を設置しています。保護者には、重要事項説明書にて非常災害時の対応や避難場所、緊急時の連絡手段などを周知しており、引き渡し訓練を実施しています。	

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
<p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	a
<p><コメント> 本部では研修制度が充実しており、様々な研修がおこなわれています。職員は研修を通じてマニュアルの理解を深めており、共通意識のもと保育に取り組んでいます。また、会議などでこどもの発達や個性を共有しており、こどもに寄り添った保育を実践しています。</p>	
<p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a
<p><コメント> 標準的な実施方法について、各種マニュアルを定期的に検証して見直しを行う仕組みがあり、職員会議にて検証・見直しをおこなっています。職員は会議以外でも日頃からこどもの共有しており、こどもの様子に合わせた実施方法にするなど柔軟に対応しています。</p>	
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
<p>【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。</p>	a
<p><コメント> 指導計画は担任が作成しており、こどもの成長や興味関心、クラスの状況などを踏まえて全体的な計画に基づき作成しています。食育計画は栄養士が、保健計画は看護師が参画して適切に作成しています。</p>	
<p>【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	a
<p><コメント> 指導計画は、期ごとにクラスの様子やこどもの姿から保育の評価・反省をおこなっており、園長やリーダーと共有しています。見直しによって変更した指導計画はクラス会議で周知しており、職員間ではタブレットで情報共有しています。保護者には園だより・クラス通信・給食だより・保健だよりを活用して、園の取り組みを情報発信しています。</p>	
<p>【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a
<p><コメント> こどもの記録は個別指導計画にて、ねらいや配慮事項など記録しています。記録はこどもの成長と保育者の関わりを肯定的な言葉で記録しており、職員全員が閲覧できるようになっています。周知・共有が必要な情報については、昼ミーティングや園内連絡で情報共有が図られています。</p>	
<p>【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a
<p><コメント> 個人情報取扱いマニュアルを整備しており、職員は入職時に守秘義務の誓約書を提出しています。個人情報に関する書類は、鍵付きの書庫にて適切に情報管理をしています。保護者には重要事項説明書にて個人情報の取り扱いを説明し同意書を交わしています。</p>	